

令和6年度 福島市立清明小学校学校運営ビジョン



日本国憲法
教育基本法等教育法規
福島県・福島市学校教育指導の重点

<求める人間像>

- 「ふるさとへの誇り 夢とあこがれ 心(ひとみ)かがやく ふくしまっ子」

<前年度の反省より>

【児童の実態】

- 素直, 誠実, 真摯な取組
- △ 生命尊重, 規範意識

【子どもの願い】

- ・ 勉強や運動ができるようになりたい
- ・ 自分の考えや思いを伝えたい
- ・ 楽しい学級にしたい

【保護者の願う子ども像】

- ・ 自分の考えや思いの適切な表現
- ・ 基礎的基本的な学習の定着
- ・ あいさつ, 場に応じた言葉遣いの定着

<教育目標>

みんなとともに 笑顔いっぱい

「自分をみがき, 成長し続ける子ども」の育成

- まなびあい ○みとめあい ○たかめあい

<学校像>

◎「みんなとともに 笑顔いっぱい」の学校をめざして

- ・ ともに学び合う学校
- ・ 心身ともに健康で安全な学校
- ・ 活気のある学校
- ・ 信頼関係が築かれた学校

<児童像>

◎「清明魂」を発揮して

- ・ 知識や技能を自分のものとして活用できる子ども
- ・ きまりを守り, 相手の立場を思いやって行動できる子ども
- ・ 自分の体について知り, 心や体の健康に向け継続して実践する子ども

<学校経営の方針>

○ 教育目標の実現に向け, 以下の方針により, 魅力ある学校づくりを進めます。

- 1 教職員一人一人が学校経営に主体的に参画し, もつ力を十分に発揮していきます。
- 2 「資質・能力」の三つの柱と, 「生きる力」を支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の双方を調和的に育みます。
 - ・「主体的・対話的で深い学び」
- 3 児童, 保護者, 地域社会の期待や信頼に応えます。
 - ・「社会に開かれた教育課程」
 - ・不祥事の根絶, 学校事故の防止

<教師像>

◎「チーム清明」の精神で

- ・ 同僚性を生かし, 相互にブラッシュアップする教師
- ・ 児童一人一人のよさや可能性を引き出すことができる教師
- ・ 保護者や地域とともに歩み, 教育的ニーズを指導に生かす教師

○印のような力や態度を育てます。 □令和6年度重点実践事項

	「頭」をみがく子ども	「心」をみがく子ども	「体」をみがく子ども
育成する子ども像 育成する資質・能力	◎ 協働的な学びを通して, 基礎的・基本的内容を習得し, 自分のものとして活用できる子ども	◎ 集団生活のきまりを守り, 相手の立場を考えて他者と関わることができる子ども	◎ 自分の体について知り, 体力の向上や健康・安全な生活をめざし, 継続して実践できる子ども
【知識・技能の習得】 まなびあい	○基礎的・基本的内容の知識・技能の習得 □授業の質的改善(学力向上P, R Sリーディングスキル) □定着度合いの把握(ノート, ワークシート, 評価テスト)	○きまりを守る大切さを理解し, 実践する態度 □生活習慣の育成(時間意識, 廊下の歩行, あいさつ) ○相手意識をもち, よりよく判断し行動する力 □相手のことを考える行動育成	○運動や健康・安全の基礎的知識・技能の習得 □健康習慣育成(生活チェック表, 食育の日, 保健・学級活動の授業など) ○基本的な動きや技能 □技能習得(運動身体プログラム, 場の工夫)
【思考力・判断力・表現力の育成】 みとめあい	○自他の考えを比較し, 広め深める力 □言語活動の充実(RSを意識付ける掲示物, 作文) □熟議型の授業(話し方・聞き方スキル, 伝え合う場)	○多様な価値観を認め, 多様に考える力 □自分と異なる考えに接することを通して, 多面的・多角的に考え議論する授業展開の工夫 □一人一人が生き生きと参加できる話し合いの仕方の指導	○心と体の成長のために, ともに解決する力 □解決方法の思考(伝え合う授業, 学習カード) □努力する態度の育成(伝え教え合う学習活動)
【学びに向かう力, 人間性の涵養】 たかめあい	○自らの目標をもち, 主体的に学習する態度 □読書活動の充実(週3回の10分間読書) □家庭学習の習慣化(まなびいseimeiの活用)	○よりよく生きようとする態度 □美化への取組(清掃の仕方, 整理整頓) □よりよく生きたい気持ちの醸成(花さき山, ありがとうカード)	○心と体に関心をもち, 運動に親しむ態度 □体力向上と健康の保持増進(重点運動の設定) ・ 1学期 短距離走 水泳 2学期 持久走 3学期 なわとび